

院長からのお願い

季節の移り変わりは早いもので、たまの日曜日戸外へ出ると山々の緑の濃さに驚き、病院の準備で無我夢中だった四年前の暑い夏を思い出します。その後新しい職員も増え皆でチームワークを取りながら「親切で質の良い医療」を求めて努力をしてきましたが、未熟者の私たちがどこまで患者の皆さんの期待に応えることができているのか甚だ不安である。そこで今までの反省の中から皆さんに二つのお願いがあります。

一つは診察を受けけるに当たってのお願いです。朝五時に起き、汽車とバスに乗り換えて受診する人もあれば、歩いて三分の人もあります。受付を開始する午前七時三十分には十数名の人が待っています。混雑する中で待ち時間をどうしたら短くできぬか？ 診察の開始時間を早めたり調剤や会計を効率良くすること。しかし診察や機能訓練の時間は短縮できません。特に診察には十分に時間をかけたほしい、病気の見逃しや誤診があつてはなりません。診察までの待ち時間が長いので、先に機能訓練をしてもらつたり心電図をとつたり採血をしたりします。ときどき「診察の順番が違う。」と患者さんからお叱りを受けることがあります。長い時間待っているのに、後からきた人が先に診察室に入つて行くのを見て、そう思われたのでしよう。多少の誤解があるので「診察の順番」について説明いたします。

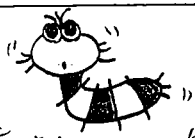
受付には (一) 医師の診察を受けられる場合と (二) それ以外の場合（リハビリ・注射や薬だけ、傷の消毒などの場合）があります。診察は原則として受付簿順です。しかし急患や気分の悪い人が先になることがあります。

またむづがろ子供も看護婦の判断で早くすることがあります。傷の消毒は診察室でするので受付順より早く呼び込むことがあります。御了承ください。このほか診察や投薬を受けけるに当たり、いろいろの約束事を決めておりそれに従つて診療を進めています。もし不審な点がありましたら近くにいる職員に遠慮無くお尋ねください。

二つ目は「付け届け」についてのお願いです。贈り物や付け届けの歴史はその昔、下級武士が自らの出世のため行つた封建時代の悪しき風習のなごりです。もちろん恋人同士の愛をこめた素晴らしい贈り物もありますが、ほとんどの場合目下のものが目上のものであるものです。医師や看護婦と患者さんとの間は常に対等であり、かつ平等です。でなければ正しい医療や看護ができません。だから私たちへの付け届けは一切ご遠慮ください。ご自宅の庭で咲いた花や畑で採れた野菜をもつてこられる患者さんがおられますが、申し訳ありませんがこの場合もご遠慮ください。病気のために花や野菜さえもつくることのできない人もおられますから、そんな弱い立場の人たちに思いやりを込めて付け届けはなさらぬいでください。私たちは職員会議で話し合いました。そして「もし、それでも贈り物があつた場合、贈り主の家まで返しに行く。」と決めました。患者の皆さん、どうか「付け届け」はご遠慮ください。そんなことに気を遣かわず、気軽に受診してください。職員一同お願いいたします。

院長





床ずれの予防



床ずれとは、身体の一部(骨の突出部)と外部の物体(寝衣・ガスマット等)の間で皮膚・皮下組織が圧迫されて血液が通わなくなり栄養不良になっていく状態です。ひどくなると全身状態も悪化する場合があります。そうならないように早くから予防することが大切になります。

床ずれはいろいろな原因があります

- 1) 全身の衰弱がひどい。
- 2) 栄養状態が悪い。
- 3) おくしがある。
- 4) 麻痺・意識低下等にて身体が動かせない。
- 5) わたさりのお年寄り。
- 6) ガスマットで身体の一部が圧迫されている。

生活の中で介護の中で注意すること

1) 身体を動かし長い時間同じ部位が圧迫されないようにする。

- ・身体のおむきを頻回(1~2時間毎)に換える。
- ・シーツ・寝衣のしわを伸ばす
- ・寝具はよく日に干して乾燥した物を使用・汚れたり湿っければすぐ取り換える。

2) 皮膚の清潔と乾燥を保つ

- ・毎日身体を拭く。身体を拭いた後は乾いたタオルで拭く。

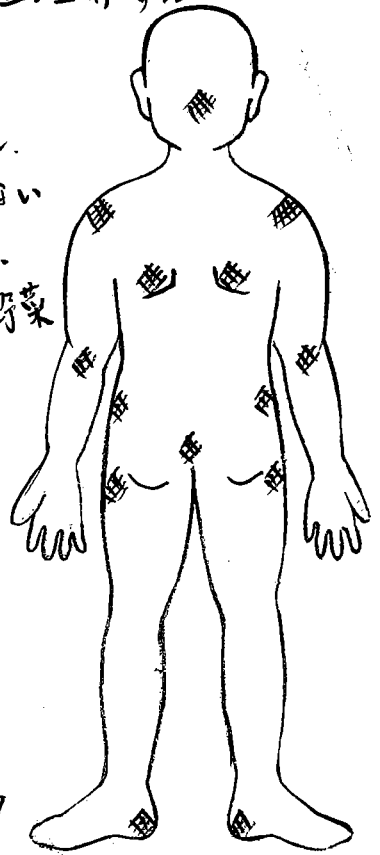
- ・排泄の都度温湯でしぼったタオルで拭く。
- ・ローションは毛穴をふさいでしまうので、あまり使用しない方がいい。

3) 局所の循環をよくする

- ・骨の突出部を中心に念入りにマッサージ。
- ・ハンドドライヤーの温風を使用しお尻をマッサージ。
- ・おしタオルを使用して温湿布する。

4) 全身状態の改善

- ・特に蛋白質・ビタミンA・B・Cが不足しないように牛乳・チーズ・大豆・卵・緑黄色野菜を欠かさない。



相談がありましたら
気軽に先生
看護婦にどうぞ!!

床ずれの危険な部位

職員紹介
えくぼと肉づきの
良さがトレードマーク
どこかあどけなさの
残る和田ゆかりさん
看護婦になつて4年目
はりきってます。

編集後記

よく受付けて、たん利子の発行はいつでもお楽しみ
にされている方、新聞も読んで、私はこの病気に似て
いるので診察をお願ひしますと言って来院される方も
たん利子の発行を待ち望んでいただきありがとうございます。
これからお益々内容豊富にし皆さんの期待に答え
られる様がんばっていきたいと思います。
御意見御感想をおねがいボックスまでお寄せ下さい。

おしらせ

・福祉医療を受けている方(田老
乳身) 7月1日から変更になり
ますので必ず受け付けに受給者証
をお出し下さい。
いしちは赤ちゃん
事務の西垣真美さんに赤ちゃん
が産まれた。"美優"ちゃん
です。
ミウ

健康情報・テレホンサービス

朝9時半から翌朝9時半まで24時間
いつでも、3分間程度の開業医の
手づくりの健康・医療情報も
テロフを流しています。

6月のテーマ

- ① 皮膚カンジダ症とおむつかぶれ
- ② やっかいものの親知らず
- ③ 寝汗のはなし
- ④ 手足のしびれ
- ⑤ 意外に多いうつ状態
- ⑥ 目の前に黒い影が見える飛蚊(ひぶん)症

7月のテーマ

- ① 赤ちゃんの"あせも"と"おでき"
- ② 歯はどこまで抜かずに治せるか
- ③ 朝起きにくい低血圧
- ④ 犬や猫に噛まれたら
- ⑤ 妊娠と喫煙
- ⑥ 家庭における親子の役割

